



# 長島町立 平尾小学校

児童数 73人  
学級数 8クラス



《テーマ》 一人一人の子どもが輝く学校  
～平尾小はみんなで作る～

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究スケジュール
本校の児童は、素朴で素直であるが、自尊心が低い児童が見られ、自他を認める児童相互の人間関係作りに課題がある。そこで、子供たち一人一人が自分の自己肯定感を高め、「平尾小の一員で良かった」と思えるような人間関係を育みたいと考え、本研究テーマを設定した。	4月19日（月）職員研修 （人権同和教育に関する共通理解） 9月3日（金）家庭教育学級 11月10日（水）職員研修（人権同和教育） 11月30日（火）人権教室 12月1日（水）～12月7日（火）校内人権週間 ※比較用「学校楽しいーと」の実施（年3回）

## 特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

### □ 校内人権週間の取組

- 全児童が人権標語を作成し、校内に掲示することで人権意識の高揚を図っている。
- 友達の良いところを書いた「人権の木の実」を製作し、人権コーナーに掲示している。また、自分の得意・不得意を書いた「平尾小カード」を製作し、「平尾小はみんなで作る」ことを常に意識するようにしている。
- 集会委員会が「ひまわり集会」を行い、その中で仲間づくりゲームを実施し、異学年交流も行っている。
- 12月の歌「いのちのうた」の歌詞の意味を担任が伝え、みんなで歌うことで思いやりの気持ちを高めている。



【人権教室の様子】



【平尾小はみんなで作る】

### □ 比較用「学校楽しいーと」の活用

年間3回実施することで、児童の実態の変容を把握し、学級経営や児童の指導に生かすようにしている。

### □ 校内掲示板に人権コーナーを設置

人権コーナーを設置し、「ふわふわ言葉」の募集や人権クイズ、友達を思いやる詩の掲示等を通して、自他を思いやる気持ちの醸成を図っている。



【人権の木の実】

## 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 児童が人権について考える機会を意図的に設定したことで、自分の良さに気付いたり、周りの児童を認めたりする態度が育ってきた。
- 人権同和教育課から講師を招聘して実践的な研修を行ったことで、教職員の人権意識の向上が更に高まった。学んだことを、児童や保護者に対してよりよく還元していく必要がある。
- 人権教育は、全教育活動を通して行うことを念頭に置きながら、子供たちのよりよい人間関係作りを進めていきたい。